

## はじめに

この教材は、<sup>ちゅうきゅう</sup>中級および<sup>ちゅうじょうきゅう</sup>中上級レベルの<sup>がくしゅうしゃ</sup>日本語学習者のみなさんが「<sup>れんしゅう</sup>日本語を話す練習」をするために作られました。「VIDEO」は中級、「AUDIO」は中級～中上級<sup>たいしょう</sup>対象の教材があります。

上級に進む前にできるようになった方がよい、スピーチ、二人の会話、ディスカッションの<sup>どうが</sup>動画と<sup>おんせい</sup>音声の<sup>れい</sup>例があり、それぞれ<sup>じまく</sup>字幕のあるもの、字幕がないもの、そして、「AUDIO」には<sup>もくてき</sup>スクリプトもあるので、<sup>つか</sup>学習の目的や自分の日本語のレベルに合わせて使ってください。

学習方法は、それぞれのユニットの<sup>れい</sup>タスク例として見たり聞いたりするほか、

- (1) <sup>ちゅうい</sup>発音やイントネーションなどに注意して聞く。
- (2) 何度も止めて発音練習をする。
- (3) <sup>しやう</sup>ディクテーションをする。
- (4) <sup>しやう</sup>シャドーイングをする。
- (5) <sup>れい</sup>例を<sup>さんこう</sup>参考にして、自分らしい<sup>かんが</sup>話し方を考える。
- (6) <sup>さんこう</sup>テーマを参考にして、自分も同じ<sup>さんこう</sup>タスクにチャレンジする。

などがありますが、自分で<sup>くふう</sup>工夫して自由に使い、みなさんの日本語学習に<sup>やくだ</sup>役立ててください。

「VIDEO」の<sup>しゅつえんしゃ</sup>出演者は<sup>りゅうがくせい</sup>明治大学の留学生(2012年度)です。みなさんと同じように日本語を勉強して、このようなことができるようになりました。

みなさんもぜひがんばってください。

これらは『<sup>ちゅうせん</sup>中級日本語で挑戦！スピーチ&ディスカッション』、『<sup>ちゅうせん</sup>もっと日本語で挑戦！スピーチ&ディスカッション』(凡人社)を<sup>さんこう</sup>参考にして作られています。この本と<sup>いっしょ</sup>一緒に勉強するとさらに<sup>こうかてき</sup>効果的です。

この教材が、皆さんの日本語力を<sup>じょうたつ</sup>上達させる<sup>たす</sup>助けになることができれば幸いです。

<sup>めいじだいがく</sup>明治大学 <sup>こくさいれんけいきこう</sup>国際連携機構  
<sup>くろさき</sup>黒崎 <sup>のりこ</sup>典子

### <sup>ちゅうき</sup>注記

本教材についている漢字の読み方は、<sup>げんそく</sup>原則として「<sup>きゅうにほんご</sup>中級」は旧日本語能力試験<sup>のうりよくしけんしゅつだいきじゅん</sup>出題基準の3級以上の漢字、「<sup>ちゅうじょう</sup>中上級」は2級以上の漢字につけられています。しかし、見やすさを<sup>ゆうせん</sup>優先して<sup>しょうりやく</sup>省略したもの、また<sup>どちゅう</sup>何度も出てくるため途中から読み方を<sup>しょうりやく</sup>省略しているものもあります。